

第2期日本のへそ西脇農業ビジョンの概要

第1章 日本のへそ西脇農業ビジョンについて P1~P2

1 ビジョン策定（見直し）について

第1期ビジョンを引き継ぎつつ、農業を取り巻く情勢変化を踏まえながら、本市農業を持続可能なものとするための施策、取組の指針として策定

2 ビジョンの位置づけと期間

位置づけ：西脇市総合計画の農業分野の個別計画

期間：令和6年度～令和15年度までの10年間

3 SDGs（持続可能な開発目標）への対応

本ビジョンにおける各種施策に関連する取組において、関連するアイコンを表示

第2章 農業をめぐる情勢 P3~P4

- 1 人口減少と少子高齢化
- 2 消費者ニーズの多様化
- 3 農業構造の変化
- 4 スマート農業の進展
- 5 国等農業施策の方向性

第3章 西脇市農業の現状と課題 P5~P17

1 西脇市農業の現状

- (1) 西脇市の概要
- (2) 農業の概要
- (3) 農業者と担い手
- (4) 農地の状況
- (5) 地産地消の状況

2 農家アンケート調査結果

3 農業ビジョンの目標達成状況

指 標	H25	R1	R5	目標
西脇ファーマーズブランド延べ認証品目数	42品目	1,147品目	934品目	1,000品目
山田錦の作付面積	265ha	410ha	408ha	320ha
農商工連携等の取組数	8件	55件	82件	100件
稲作の共同作業を行う集落	2集落	8集落	9集落	20集落
試食会、見学会等、参加市民数	21,000人	27,000人	20,000人	43,000人
認定農業者数	28人	29人	35人	35人
人・農地プラン等集落プラン策定数	2集落	11集落	21集落	30集落
有害鳥獣防護柵設置距離	37km	71km	77km	70km

4 西脇市農業の課題

- (1) ブランド農産物の振興
- (2) 担い手の育成・確保
- (3) 循環型農業の拡大と有機農業の取組
- (4) 農業基盤の整備と農地の有効活用
- (5) スマート農業の推進



第4章 西脇市農業の将来像と5つの戦略 P18~P33

1 西脇市農業の将来像

日本のへそ・西脇ファーマーズスタイル ～自然の恵みを人から人へ～

「地域の特性を生かした持続可能な農業の実現」

「日本のへそ」として、有機の里づくりから始まる「いのちをつなげる循環」を増進し、文化や風土、環境を大切にしながら、安全・安心で良質な農産物の生産の拡大を図る。また、山田錦や黒田庄和牛をはじめとする高品質な農畜産物の振興を図り、多様な需要に応える創意工夫に満ちた農業を展開し、持続可能な農業の実現を目指す。

戦略1 「稼ごう」ブランド農産物の振興と地産地消の拡大

- (1) ブランド農産物の安定生産
- (2) 足腰の強い畜産業の振興
- (3) 地域内消費の拡大
- (4) 収益性の高い施設園芸の推進

戦略2 「育てよう」農業を支える人材の育成・確保

- (1) 認定農業者等の担い手への支援
- (2) 新規就農者や農業後継者の確保
- (3) 集落営農組織等の広域連携や再編
- (4) 企業の農業参入等の推進

戦略3 「守ろう」自然にやさしい農業の取組拡大

- (1) 循環型農業のさらなる推進
- (2) 有機農業の取組支援

戦略4 「活かそう」土地の有効活用と農業生産基盤の維持

- (1) 担い手への農地集積
- (2) 農業用施設の維持・長寿命化
- (3) 耕作放棄地の拡大防止
- (4) 有害鳥獣の被害対策

戦略5 「創ろう」スマート農業による新しい農業の実現

- (1) スマート農業技術の実証
- (2) スマート農機具等の導入支援

<第2期農業ビジョンにおける施策の達成度を測る指標>

指標	R5	R15
ブランド農産物の栽培面積	496ha	550ha
黒田庄和牛等の肥育頭数	1,348頭	1,400頭
認定農業者・認定新規就農者数	44経営体	50経営体
法人経営体数	9経営体	15経営体
西脇ファーマーズブランド延べ品目数	934品目	1,000品目
有機農業に取り組む農業者	0経営体	5経営体
担い手への農地集約面積	309ha	500ha
多面的機能支払交付面積	893ha	900ha
耕作放棄地面積	8ha	10ha
スマート農業実践農家数	4経営体	40経営体